

本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.72 2023 No.4
令和5年8月発行



今号の内容:令和5年4月から6月までに検査した

残留農薬検査結果
放射性物質検査結果
総水銀検査結果
PCB 検査結果
自然毒検査結果
動物用医薬品検査結果

横浜市医療局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話: 045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>

1 残留農薬検査

令和5年4月から6月までの残留農薬検査は、国産農産物14検体(13種)、輸入農作物1検体(1種)、福祉保健センター等からの依頼検査5検体(5種)の合計20検体について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は3検体(6農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

(1) 国産農産物検査結果

検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
キュウリ	神奈川県	令和5年4月20日	南部市場	なし	不検出	なし
ダイコンの根	茨城県	令和5年4月20日	南部市場	なし	不検出	なし
キャベツ	神奈川県	令和5年4月20日	南部市場	なし	不検出	なし
ハクサイ	茨城県	令和5年4月20日	南部市場	なし	不検出	なし
イチゴ	栃木県	令和5年5月11日	本場市場	クレソキシムメチル	0.02	5
				フルフェノクスロン	0.02	0.5
サツマイモ	茨城県	令和5年5月11日	本場市場	なし	不検出	なし
ネギ	群馬県	令和5年5月11日	本場市場	なし	不検出	なし
ダイコンの根	千葉県	令和5年5月11日	本場市場	なし	不検出	なし
ブナシメジ	長野県	令和5年5月11日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	茨城県	令和5年6月29日	本場市場	なし	不検出	なし
サクランボ	山形県	令和5年6月29日	本場市場	ピフェントリン	0.08	2
				ピラクロストロビン	0.04	3
				ボスカリド	0.11	3
サラダ菜	茨城県	令和5年6月29日	本場市場	なし	不検出	なし
チンゲンサイ	茨城県	令和5年6月29日	本場市場	なし	不検出	なし
トマト	静岡県	令和5年6月29日	本場市場	なし	不検出	なし

(2) 輸入農産物検査結果

検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
タマネギ	中国	令和5年4月20日	南部市場	なし	不検出	なし

(3) 福祉保健センター等からの依頼検査結果

検出値、基準値：検体 1 kgあたりに含まれる農薬のmg数 (PPM)

検体名	産地	収去日	依頼部署	検出農薬	結果	基準値
トマト	神奈川県	令和 5 年 4 月 25 日	医療局	なし	不検出	なし
ゴボウ	熊本県	令和 5 年 4 月 25 日	医療局	なし	不検出	なし
ニンジン	徳島県	令和 5 年 4 月 25 日	医療局	プロシミドン	0.02	0.2
ナガイモ	青森県	令和 5 年 4 月 25 日	医療局	なし	不検出	なし
ニンジン	徳島県	令和 5 年 4 月 25 日	医療局	なし	不検出	なし

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
クレソキシムメチル	ストロビルリン系殺菌剤	作用機構はミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸障害で、結果として孢子発芽および菌糸伸長を阻害すると考えられている。日本では 1997 年に初めて農薬登録された。
ピフェントリン	ピレスロイド系殺虫剤	1977 年に開発され、昆虫の神経軸索の神経膜に作用し、ナトリウムチャネルの働きを乱し、神経刺激の軸索伝導を阻害し、昆虫を死に至らしめる。我が国では、1992 年に初めて登録された。
ピラクロストロピン	ストロビルリン系殺菌剤	1993 年に開発された。ミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸阻害により、殺菌活性を示す。外国ではスイス、ドイツ、フランス等で登録されている。日本では 2006 年 9 月に初回登録された。
フルフェノクスロン	ベンゾフェニル系殺虫剤	作用機序はキチン質の合成阻害によるものである。欧米諸国や中南米、アフリカ諸国等 40 か国以上で農薬登録されており、日本では 1993 年に初めて登録された。
プロシミドン	ジカルボキシイミド系殺菌剤	植物病原菌(灰色かび病、菌核病等)に対し、菌糸の伸張育成を阻害すると考えられている。日本では 1981 年に初めて農薬登録された。
ポスカリド	アニリド系殺菌剤	1992 年に発見された。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素系複合体の電子伝達を阻害することで灰色かび病、菌核病に効果を示す。日本では 2005 年に初めて農薬登録された。

参考：内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

農業工業会

2 放射性物質検査

令和5年4月から6月までの放射能検査は、水産物26検体、農産物6検体、福祉保健センター等からの依頼検査10検体の合計42検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム134とセシウム137の合計で設定されています。

- 乳児用食品については1kgあたり50ベクレル以下
- 飲料水については1kgあたり10ベクレル以下
- 牛乳については1kgあたり50ベクレル以下
- その他、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下

(1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計:1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
ギンザケ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年4月14日	不検出	不検出	不検出	養殖
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年4月14日	不検出	不検出	不検出	天然
サクラマス	青森県	青森県沖下北港	令和5年4月14日	不検出	不検出	不検出	天然
ゴマサバ	千葉県	房総沖館山港	令和5年4月21日	不検出	不検出	不検出	天然
シロゲンゲ	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和5年4月21日	不検出	不検出	不検出	天然
ニシン	北海道	北海道根室沖根室港	令和5年4月21日	不検出	不検出	不検出	天然
ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年4月28日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年4月28日	不検出	不検出	不検出	養殖
ホッケ	青森県	青森県沖下北港	令和5年4月28日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	千葉県	日立鹿島沖銚子港	令和5年5月12日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ	千葉県	房総沖館山港	令和5年5月12日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	南三陸沖石巻港	令和5年5月12日	不検出	不検出	不検出	養殖
チダイ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年5月19日	不検出	不検出	不検出	天然
シログチ(イシモチ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年5月19日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城県産	令和5年5月19日	不検出	不検出	不検出	養殖
カツオ	千葉県	房総沖勝浦港	令和5年5月26日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和5年5月26日	不検出	不検出	不検出	養殖
マカジキ	宮城県	日本太平洋北沖気仙沼港	令和5年5月26日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年6月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年6月9日	不検出	不検出	不検出	養殖
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和5年6月9日	不検出	不検出	不検出	天然
マボヤ	岩手県	三陸北部沖大船渡港	令和5年6月23日	不検出	不検出	不検出	養殖
カツオ	宮城県	日立鹿島沖気仙沼港	令和5年6月23日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年6月30日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年6月30日	不検出	不検出	不検出	養殖

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和5年6月30日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム合計	備考
ハウレンソウ	岩手県	令和5年5月2日	不検出	不検出	不検出	ハウス
トマト	群馬県	令和5年5月2日	不検出	不検出	不検出	ハウス
ナス	群馬県	令和5年5月2日	不検出	不検出	不検出	ハウス
ニンジン	千葉県	令和5年6月16日	不検出	不検出	不検出	露地
スイカ	千葉県	令和5年6月16日	不検出	不検出	不検出	露地
ミニトマト	茨城県	令和5年6月16日	不検出	不検出	不検出	ハウス

(3) 福祉保健センター等からの依頼検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	食品分類	産地	依頼部署	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム合計
牛の肉	一般食品	栃木県	医療局	令和5年5月24日	不検出	不検出	不検出
米(精米)	一般食品	新潟県	医療局	令和5年5月24日	不検出	不検出	不検出
牛乳	牛乳	山形県	医療局	令和5年5月24日	不検出	不検出	不検出
レンコン	一般食品	茨城県	医療局	令和5年5月24日	不検出	1.9	1.9
清涼飲料水	乳児用食品	国産	医療局	令和5年5月25日	不検出	不検出	不検出
清涼飲料水	乳児用食品	国産	医療局	令和5年5月25日	不検出	不検出	不検出
レトルトパウチ食品	乳児用食品	国産	医療局	令和5年5月25日	不検出	不検出	不検出
レトルトパウチ食品	乳児用食品	国産	医療局	令和5年5月25日	不検出	不検出	不検出
調製粉乳	乳児用食品	国産	医療局	令和5年5月25日	不検出	不検出	不検出
調製液状乳	乳児用食品	国産	医療局	令和5年5月25日	不検出	不検出	不検出

3 総水銀検査

令和5年4月から6月までの魚介類の総水銀検査は、15検体(12魚種)について実施しました。このうち青森県産マダイから暫定的規制値を超える総水銀(0.52ppm)を検出したため、本市衛生研究所でメチル水銀検査を依頼したところ、暫定的規制値を超えるメチル水銀(0.51ppm)を検出しました。この結果から、この魚介類の水銀の暫定的規制値超過として生産地を所轄する自治体に情報提供を行いました。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体1kgあたり総水銀0.4mgかつメチル水銀0.3mg

総水銀検査結果

検出値:検体1kgあたりに含まれる水銀のmg数(PPM)

検体名	産地	備考	収去日	検出値
スズキ	神奈川県	天然	令和5年4月6日	0.1
ブリ	静岡県	天然	令和5年4月6日	0.15
ウスメバル	新潟県	天然	令和5年4月6日	0.05
ニシン	北海道	天然	令和5年4月6日	0.06
アイナメ	青森県	天然	令和5年4月6日	0.14
ニシン	北海道	天然	令和5年5月18日	0.07
マサバ	宮城県	天然	令和5年5月18日	0.17
マダラ	北海道	天然	令和5年5月18日	0.09
マアジ	長崎県	天然	令和5年5月18日	0.04
マサバ	千葉県	天然	令和5年5月18日	0.23
マアジ	長崎県	天然	令和5年6月15日	0.04
イサキ	千葉県	天然	令和5年6月15日	0.03
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	天然	令和5年6月15日	0.03
ヒラメ	青森県	天然	令和5年6月15日	0.05
マダイ	青森県	天然	令和5年6月15日	0.52

4 PCB 検査

令和 5 年 4 月から 6 月までの魚介類の PCB 検査は、5 検体(5 魚種)について実施しました。測定は衛生研究所にて実施したところ、暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

PCB の暫定的規制値:遠洋沖合魚介類については 1 kgあたり 0.5 mg

内海内湾魚介類については 1 kgあたり 3 mg

PCB 検査結果

検出値、暫定的規制値:検体 1 kgあたりに含まれる PCB のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出値	暫定的規制値
マアジ	長崎県	令和 5 年 6 月 15 日	不検出	3
イサキ	千葉県	令和 5 年 6 月 15 日	不検出	3
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	令和 5 年 6 月 15 日	不検出	0.5
ヒラメ	青森県	令和 5 年 6 月 15 日	不検出	0.5
マダイ	青森県	令和 5 年 6 月 15 日	不検出	3

5 自然毒検査

貝毒検査

令和 5 年 4 月から 6 月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性ともに国産 6 検体、輸入 7 検体、合計 13 検体、3 種の貝について実施しました。LC/MS/MS による機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、規制値を超過した検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は 1kg あたり 0.16 mgオカダ酸当量(注釈 1)以下
- 麻痺性貝毒は 1g あたり 4 マウスユニット(注釈 2)以下

注釈 1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシストキシン-1、ジノフィシストキシン-2 の検出値に係数を乗じた値の総和のことを言います。

注釈 2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことを言います。麻痺性貝毒の場合、体重 20 グラムのマウスが 15 分で死亡する毒力が 1 マウスユニットと定義されています。

貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体 1kg あたりのmg数(PPM)

麻痺性貝毒検出値:検体 1g あたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
アカガイ	中国	令和 5 年 4 月 27 日	0.01	1.75 未満
ホタテガイ	北海道	令和 5 年 4 月 27 日	不検出	1.75 未満
ホタテガイ	北海道	令和 5 年 4 月 27 日	不検出	1.75 未満
アカガイ	韓国	令和 5 年 4 月 27 日	0.04	1.75 未満
ホタテガイ	北海道	令和 5 年 5 月 25 日	不検出	1.75 未満
アカガイ	中国	令和 5 年 5 月 25 日	0.02	1.75 未満
ハマグリ	千葉県	令和 5 年 5 月 25 日	不検出	1.75 未満
ホタテガイ	青森県	令和 5 年 5 月 25 日	0.06	1.75 未満
アカガイ	中国	令和 5 年 5 月 25 日	0.01	1.75 未満
アカガイ	中国	令和 5 年 6 月 22 日	不検出	1.75 未満
ホタテガイ	北海道	令和 5 年 6 月 22 日	0.01	1.75 未満
アカガイ	中国	令和 5 年 6 月 22 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	中国	令和 5 年 6 月 22 日	不検出	1.75 未満

6 動物用医薬品検査(抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和5年4月から6月までの動物用医薬品検査は、冷凍エビ4検体について実施した結果、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

動物用医薬品検査結果

検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
冷凍エビ	インドネシア	令和5年6月13日	なし	不検出	なし
冷凍エビ	インド	令和5年6月13日	なし	不検出	なし
冷凍エビ	インドネシア	令和5年6月13日	なし	不検出	なし
冷凍エビ	インドネシア	令和5年6月13日	なし	不検出	なし